



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年10月30日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4512 URL <https://www.wakamoto-pharm.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 範久
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 福原 和彦 TEL 03-3279-0371
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,381	3.0	△900	—	△886	—	△1,622	—
2019年3月期第2四半期	5,226	△3.6	△44	—	△29	—	△31	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△46.76	—
2019年3月期第2四半期	△0.91	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	16,094	12,012	74.6	346.11
2019年3月期	17,764	13,760	77.5	396.48

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 12,012百万円 2019年3月期 13,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	5.2	△900	—	△900	—	△1,650	—	△47.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	34,838,325株	2019年3月期	34,838,325株
2020年3月期2Q	130,521株	2019年3月期	130,327株
2020年3月期2Q	34,707,884株	2019年3月期2Q	34,708,240株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策を背景に、企業収益や雇用環境の改善等により緩やかな回復基調で推移しましたが、海外における中国景気の減速や長期化する米中間の貿易摩擦等による政治・経済動向の不確実性が高まっており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策や長期収載医薬品の薬価引下げなどの薬剤費抑制政策が継続的に推し進められ、引き続き厳しい事業環境にあります。

ヘルスケア事業を取り巻く環境は、景気の緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費は横ばいにとどまり、また企業間競争も加速しており、依然、不透明感を払拭できない状況が継続しました。

そのなかにあって当社の医薬事業では、主力製品である眼科手術補助剤・眼科用副腎皮質ホルモン剤「マキュエイド眼注用40mg」、アレルギー性結膜炎治療剤「ゼペリン点眼液0.1%」、水溶性非ステロイド性抗炎症点眼剤「ジクロード点眼液0.1%」、緑内障・高眼圧症治療剤「リズモンTG点眼液」および主力製品として育成すべき重要な製品の緑内障・高眼圧症治療剤（特許を持った後発品）「カルテオロール塩酸塩LA点眼液」、「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」に加えて、乳酸菌製剤「レベニン」シリーズ、業務提携先との共同販促品であるA型ボツリヌス毒素製剤「ボトックス注用」、緑内障・高眼圧症治療剤「ドルモロール配合点眼液」、「ピマトプロスト点眼液0.03%」、サプリメント「オブティエイド」シリーズ、さらには医薬品原料等の販売促進ならびに受託製造販売を行ってまいりました。

ヘルスケア事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、エビデンスに基づき口臭予防を訴求した薬用歯磨き（医薬部外品）「アバンビーズ」シリーズ2製品および通販事業を主体に「アバンビーズ オーラルタブレット」（乳酸菌含有加工食品）の販売促進を行ってまいりました。

国際事業では、海外向け「わかもと」ならびに医薬品、原料薬品の製造販売ならびにライセンスイン・アウトの活動を行ってまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は53億8千1百万円（前年同期比3.0%増）、営業損失9億円（前年同期は営業損失4千4百万円）、経常損失は8億8千6百万円（前年同期は経常損失2千9百万円）、四半期純損失は16億2千2百万円（前年同期は四半期純損失3千1百万円）となりました。なお、WP-1303の緑内障・高眼圧症を適応症とした開発を中止したことに伴い、繰延税金資産を取り崩しております。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では「マキュエイド眼注用40mg」、「カルテオロール塩酸塩LA点眼液」、「ドルモロール配合点眼液」の売上が増加いたしました。その結果、売上高は32億3千6百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

ヘルスケア事業では、主力製品の「強力わかもと」、通販事業における「アバンビーズ オーラルタブレット」の売上が増加いたしました。その結果、売上高は17億4千1百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

国際事業では、輸出用の「マキュエイド眼注用40mg」、輸出用原料薬品が減少いたしました。その結果、売上高は3億1千1百万円（前年同期比10.8%減）となりました。

不動産賃貸業の主たる収入はコレド室町関連の賃貸料であります。売上高は9千1百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、160億9千4百万円となり前事業年度末比16億6千9百万円（9.4%減）の減少となりました。流動資産は86億6千3百万円となり9億6千万円（10.0%減）の減少、固定資産は74億3千万円となり7億8百万円（8.7%減）の減少となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、商品及び製品ならびに仕掛品が増加した一方、現金及び預金が減少したことが主たる要因であります。固定資産が減少いたしましたのは、繰延税金資産が減少したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、40億8千1百万円となり前事業年度末比7千8百万円（2.0%増）の増加となりました。流動負債は24億6千1百万円となり2億4千6百万円（9.1%減）の減少、固定負債は16億2千万円となり3億2千5百万円（25.2%増）の増加となりました。

流動負債が減少いたしましたのは、支払手形及び買掛金が減少したことが主たる要因であります。一方、固定負債が増加いたしましたのは、繰延税金負債が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、120億1千2百万円となり前事業年度末比17億4千8百万円（12.7%減）の減少となりました。繰越利益剰余金が減少したことが主たる要因であります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の77.5%から74.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

2019年9月9日に公表いたしました通り、WP-1303の緑内障・高眼圧症を適応症とした開発の中止を決定したことにより研究開発費が減少し、営業損失、経常損失の見込額が縮小しております。また、繰延税金資産を取り崩したことにより当期純損失の見込額が拡大しております。

なお、WP-1303開発中止の現中期経営計画への影響につきましても現在精査中であり、当期末決算発表時までには公表をする予定であります。

内容につきましては、本日(2019年10月30日)別途発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」も併せてご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,261,813	2,659,319
受取手形及び売掛金	3,642,776	3,182,734
商品及び製品	1,379,604	1,527,820
仕掛品	420,277	486,408
原材料及び貯蔵品	674,191	533,973
未収還付法人税等	22,421	3,777
その他	224,532	269,924
貸倒引当金	△728	-
流動資産合計	9,624,888	8,663,959
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,822,381	7,822,151
減価償却累計額	△4,737,190	△4,836,310
建物(純額)	3,085,190	2,985,840
構築物	268,504	268,504
減価償却累計額	△221,287	△224,997
構築物(純額)	47,216	43,506
機械及び装置	8,034,589	8,043,699
減価償却累計額	△7,531,062	△7,581,449
機械及び装置(純額)	503,527	462,249
車両運搬具	45,455	45,455
減価償却累計額	△35,110	△37,799
車両運搬具(純額)	10,344	7,655
工具、器具及び備品	969,411	984,310
減価償却累計額	△846,202	△862,315
工具、器具及び備品(純額)	123,209	121,995
土地	82,947	82,947
建設仮勘定	55,035	55,035
有形固定資産合計	3,907,470	3,759,230
無形固定資産		
特許実施権	300,000	300,000
特許権	228	168
ソフトウェア	168,229	127,915
ソフトウェア仮勘定	-	18,962
その他	3,680	3,680
無形固定資産合計	472,138	450,725
投資その他の資産		
投資有価証券	2,634,497	2,456,007
保険積立金	498,817	455,101
繰延税金資産	310,990	-
その他	358,241	351,310
貸倒引当金	△43,036	△41,736
投資その他の資産合計	3,759,510	3,220,682
固定資産合計	8,139,118	7,430,638
資産合計	17,764,006	16,094,597

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,322,362	1,214,118
短期借入金	140,000	100,000
未払法人税等	19,794	28,833
賞与引当金	141,600	115,300
返品調整引当金	4,000	3,000
その他	1,080,773	1,000,314
流動負債合計	2,708,530	2,461,566
固定負債		
退職給付引当金	1,123,035	1,088,499
長期預り金	169,327	169,327
繰延税金負債	-	361,833
その他	2,134	533
固定負債合計	1,294,496	1,620,194
負債合計	4,003,027	4,081,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,828	2,675,828
利益剰余金	6,596,110	4,973,220
自己株式	△36,056	△36,107
株主資本合計	12,631,770	11,008,829
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,129,208	1,004,008
評価・換算差額等合計	1,129,208	1,004,008
純資産合計	13,760,978	12,012,837
負債純資産合計	17,764,006	16,094,597

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	5,226,498	5,381,050
売上原価	2,322,454	2,333,217
売上総利益	2,904,043	3,047,833
販売費及び一般管理費	2,948,770	3,948,332
営業損失(△)	△44,726	△900,499
営業外収益		
受取利息	16	13
受取配当金	23,862	24,403
為替差益	-	708
その他	8,629	5,549
営業外収益合計	32,509	30,674
営業外費用		
支払利息	1,030	375
固定資産除却損	814	282
寄付金	13,145	13,082
為替差損	399	-
その他	2,217	2,607
営業外費用合計	17,606	16,348
経常損失(△)	△29,824	△886,173
特別損失		
事務所移転費用	550	-
特別損失合計	550	-
税引前四半期純損失(△)	△30,375	△886,173
法人税、住民税及び事業税	8,761	8,748
法人税等調整額	△7,671	727,967
法人税等合計	1,090	736,716
四半期純損失(△)	△31,465	△1,622,889

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△30,375	△886,173
減価償却費	225,282	232,704
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△33	△2,028
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△8,530	△34,535
賞与引当金の増減額(△は減少)	△59,000	△26,300
受取利息及び受取配当金	△23,879	△24,416
支払利息	1,030	375
固定資産除却損	814	282
売上債権の増減額(△は増加)	167,318	460,042
たな卸資産の増減額(△は増加)	△136,633	△74,129
仕入債務の増減額(△は減少)	109,290	△133,831
未収消費税等の増減額(△は増加)	-	71,653
未払消費税等の増減額(△は減少)	△34,333	-
預り敷金及び保証金の受入による収入	735	-
その他	99,186	△166,853
小計	310,871	△583,210
利息及び配当金の受取額	23,879	24,416
利息の支払額	△1,152	△375
法人税等の還付額	-	22,421
法人税等の支払額	△69,530	△4,053
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,069	△540,801
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68,082	△31,047
無形固定資産の取得による支出	△37,213	△24,252
投資有価証券の取得による支出	△1,789	△1,854
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△61,387	37,688
投資活動によるキャッシュ・フロー	△168,472	△19,466
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△80,000	△40,000
自己株式の取得による支出	△18	△48
自己株式の処分による収入	71	-
配当金の支払額	△103,378	△576
リース債務の返済による支出	△1,600	△1,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,925	△42,225
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△89,329	△602,494
現金及び現金同等物の期首残高	3,848,577	3,261,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,759,248	2,659,319

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)1
	医薬事業	ヘルスケア事業	国際事業	不動産賃貸業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,276,257	1,508,850	349,378	92,012	5,226,498	—	5,226,498	—	5,226,498
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,276,257	1,508,850	349,378	92,012	5,226,498	—	5,226,498	—	5,226,498
セグメント利益又は 損失(△)	△261,071	129,973	48,470	37,901	△44,726	—	△44,726	—	△44,726

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)1
	医薬事業	ヘルスケア事業	国際事業	不動産賃貸業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,236,514	1,741,342	311,507	91,685	5,381,050	—	5,381,050	—	5,381,050
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,236,514	1,741,342	311,507	91,685	5,381,050	—	5,381,050	—	5,381,050
セグメント利益又は 損失(△)	△1,023,665	45,831	39,963	37,372	△900,499	—	△900,499	—	△900,499

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当社は従来、「医薬事業」「ヘルスケア事業」「特販事業」の3つを報告セグメントとしておりましたが、前第3四半期会計期間より、海外の開発部門と営業部門を統合し、一体ならびに効率運営を図り更なるグローバル事業展開を強化するために「国際事業本部」を新設する組織変更を行いました。このため経営管理の観点から、従来の報告セグメントである「特販事業」を「国際事業」に名称を変更し、従来「特販事業」に区分していた国内向けの医薬品原料の販売ならびに受託製造販売に関わる事業を「医薬事業」に変更しております。

また、前第4四半期会計期間より、従来「その他」に区分していた「不動産賃貸業」については量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。